

2021 年 3 月 1 日

各 位

株式会社 N T T データ中国

預貯金等照会電子化サービスの運用の開始について

株式会社 N T T データ中国（以下：N T T データ中国）と株式会社中国銀行（以下：中国銀行）は、2021 年 3 月より、株式会社 N T T データ（以下：N T T データ）が提供する預貯金等照会業務の電子化サービス「pipitLINQ[®]」^{注1}の運用を開始します。

本サービスは、岡山県下では初めての取り組みとなります。2021 年 4 月から行政機関と連携するとともに、本サービスの県下全域への展開の取り組みを強化し、行政機関・金融機関双方のデジタル化推進により、業務効率化に貢献していきます。

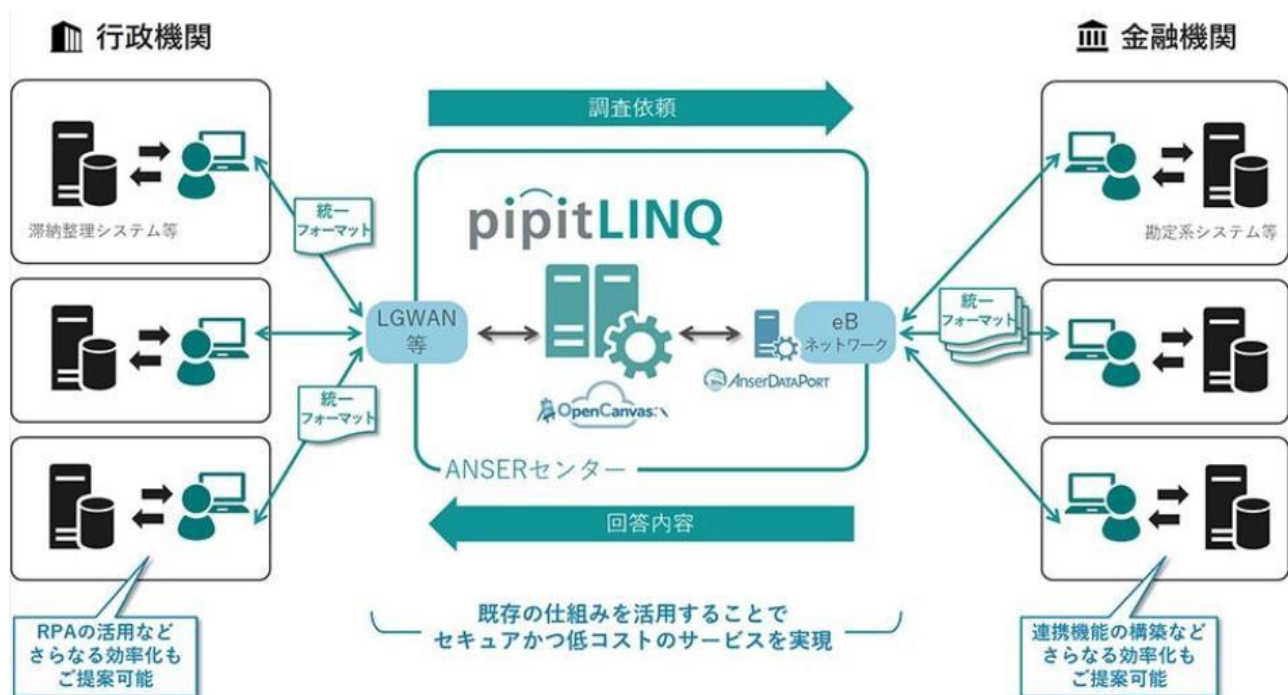


図 1 預貯金等照会業務の電子化サービス「pipitLINQ」のサービスイメージ

1. 背景

行政機関では、税公金負担や生活保護給付の公平性確保のため、法令に基づき、金融機関に対して預貯金状況の調査を実施しています。N T Tデータグループでは 2017 年 8 月より関係機関と勉強会を開催してきましたが、勉強会を進める中で預貯金状況の調査には下記の課題が顕在化していることがわかりました。

金融機関では、預貯金状況の調査の際に用いられる調査依頼書は、行政機関ごとに異なる様式で、かつ書面で郵送されるため、大量かつ多様な書面が残る業務となっており、大きな人的負担が課題となっています。

また、行政機関にとっては、郵送コストの負担や、タイムリーに回答結果が得られないなど、迅速かつ適正な行政事務の遂行に向けて改善の余地が大きい状況です。

こうした課題の解決に向け、2018 年 1 月 16 日、電子行政の関係閣僚で構成する「e ガバメント閣僚会議」にて 5 か年の「デジタル・ガバメント実行計画」が策定され、個別サービス改革として「預貯金等の照会」の効率化が盛り込まれました。

政府の動きを受け、N T Tデータは 2018 年 8 月から実務検証にて電子化による効果や運用性の検証を行い、その成果に基づき、2019 年 2 月から pipitLINQ の提供を開始しています。

N T Tデータ中国は、中国エリアの行政機関／金融機関への pipitLINQ の導入の拡大に取り組んでおり、行政機関等と試行運用を経て、2021 年度本格運用を目指しています。

2. pipitLINQ の概要と特長

pipitLINQ は預貯金等の照会業務を電子化する、行政機関と金融機関をつなぐ全国統一型のサービスです。

行政機関と金融機関の双方が pipitLINQ を導入することで、導入機関の間で電子データによる預貯金等の照会が可能となります。書面を取り扱う人的負担や、郵送によるコストおよび回答までのタイムラグが大幅に軽減され、迅速かつ適正な業務の実現につながります。

また、行政機関へは LGWAN-ASP サービス^{注2}として、金融機関向けには AnserDATAPORT^{®注3}の関連サービスとして提供するなど、実績のある既存の仕組みを最大限に活用^{注4}することで、従来の紙での情報の授受と比べ、非常にセキュアでかつ、低コストのサービスを実現しています。

3. 今後について

本サービスの岡山県全域への展開を目指して取り組みを一層強化し、行政機関／金融機関双方の業務効率化に貢献していきます。

注釈

注 1…NTT データ 2019 年 1 月 31 日ニュースリリース「預貯金等照会業務の電子化サービス「pipitLINQ™」を販売開始」

<https://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2019/013101/>

pipitLINQ ソリューションサイト : <https://pipitlinq.jp/>

注 2…LGWAN-ASP は、行政専用のセキュアな閉域ネットワークである LGWAN において、地方公共団体向けに提供される各種行政事務サービスを指します。

中央省庁のお客さま向けには、N T T データが提供するセキュアな閉域ネットワークサービス「Connecure®」経由でサービスを提出します。

注 3…AnserDATAPORT は、CMT 等の媒体や ISDN 回線に代わる閉域網を利用して、企業／地方自治体と金融機関との安全な取引を実現するファームバンキングサービスです。

AnserDATAPORT ソリューションサイト : www.adp.ne.jp/

注 4…行政機関向けネットワークとして LGWAN、金融機関向けネットワークとして eB ネットワーク、サービス提供基盤として OpenCanvas®（クラウドサービス）および ANSER@サービス（バンキングサービス）を活用しています。

本件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係のお問い合わせ先

株式会社 NTT データ中国

経営企画部 広報担当

TEL : 082-252-3260

E-mail : pr-info@nttdata-chugoku.co.jp

■ サービスに関するお問い合わせ先

株式会社 NTT データ中国

公共事業部 岡山支店

TEL : 086-227-0222

E-mail : c-pipitlinq@nttdata-chugoku.co.jp